

技術の向上と親睦 第3回真心館少年柔道錬成大会

2月3日、西合志体育館で第3回真心館少年柔道錬成大会が行なわれました。これは心身の鍛錬、技術の向上や相互の親睦などを目的に真心館少年柔道クラブが開催しています。同クラブの戦績は次のとおりです。

●団体5、6年 軽量級の部 優勝 重量級の部 3位 ●団体3、4年 軽量級の部 準優勝 重量級の部 準優勝 ●団体1、2年の部 優勝 ●幼児の部 優勝 中原史恵(須屋) 準優勝 山元爽太郎(中尾)



今後も大会が続くようクラブ全体で盛り上げていきます

音楽と物語を楽しむ フルーツで贈るおはなし会

2月9日、西合志図書館でデュオ・ドレミ(松村光子さん・吉永洋子さん)によるフルーツで贈るおはなし会が開催されました。

子どもから大人まで幅広い年齢層の参加者に合わせて、童謡メドレーや『上を向いて歩こう』などの演奏がありました。参加者はみんなで歌いながらフルーツの音と物語のハーモニーを楽しみ、感動的なおはなし会となりました。



子どもたちも熱心に聞き入っていました

合志マンガミュージアム くまもとアートポリス推進賞を受賞

1月30日、県庁で県内の優れた建造物を顕彰する第23回くまもとアートポリス推進賞表彰式が行なわれ、合志マンガミュージアムが受賞しました。

同ミュージアムは旧西合志郷土資料館を改修し、平成29年7月にオープンした文化施設。「マンガを読む縁側が作られ、子どもが安心できる居場所となっている」などと評価され受賞しました。今後も観光交流の拠点となることが期待されます。



みんなの隠れ家。キューブゾーン

東京エレクトロン九州マッティングギフト 福祉用具 寄贈

2月5日、東京エレクトロン九州株式会社(林伸一代表取締役社長)から市社会福祉協議会へ床走行リフトや耐荷重車椅子などの福祉用具が寄贈されました。

同社は従業員からの募金や施設利用料に会社の拠出金を合わせたマッティングギフトによる地域貢献活動を平成21年から続けています。寄贈された福祉用具は市保健福祉センターふれあい館で、障がいのある人の生活支援などに活用されます。



寄贈式に出席した萩尾一雄副社長(左)と荒木市長



人権よもやま話



人権擁護委員
上原 哲也

私は現在、人権擁護委員歴3年目になります。人権擁護委員の主な活動は、定期的に実施される人権相談や、地域、施設へ訪問して人権紙芝居や劇などを通して人権について学んでもらう人権啓発活動です。

また、法務局阿蘇大津支局では、「子ども人権部会」・「男女共同参画部会」・「社会福祉部会」の3部会で構成されている人権擁護委員協議会が設置されており、人権擁護委員はそれぞれの部会に分かれて、部会毎に人権啓発活動を展開しています。

私は子ども人権部会に所属しています。活動内容は中学生を対象にした「人権作文コンクール」の募

集と審査活動から、「人権の花」運動、小中学生を対象とした「SO Sミニレター」事業(子どもたちから寄せられたさまざまな悩みについて、人権擁護委員から適切な指導助言を行なう事業)を実施しています。

最近では携帯電話やスマートフォンなどの依存症や、インターネット上への書き込みによるトラブルなどが多発していることから、中学生を対象に携帯電話・スマートフォンなどの正しい利用方法を知ってもらうための講座も開催しています。

子どもたちをはじめ、市民の皆さんが明るく元気に希望のある毎日を送れるように、私たち人権擁護員がお手伝いできればと思っています。



素敵な人生 素敵なパートナー



男女共同参画推進懇話会
委員 杉田 隆

懇話会に参加して2年になります。当初は「男女共同参画って何」「男女が協力し合って生活するなんて当たり前ののに、なぜまだ呼び掛ける必要があるのだろうか」と思っていました。

男女共同参画とは、互いに尊重し、性別にとらわれることなく、それぞれの個性や能力を十分に発揮できるようにすることです。

ずいぶん前から男女共同参画社会に向けての取り組みや啓発が行なわれてきました。以前は職場や家庭、地域などで「女性らしい」「男性らしい」という考え方があり、この考え方が、私たちの行動や生き方、選択肢を制限してきました。例えば、「男性は理系が得意、女性は文系が得意」など、学業や職業、育児でも固定観念による思い込みや決めつけがありました。

しかし、最近では少しずつ社会も変化してきています。私はコミュニティ指導員を務めています。が、コミュニティ主催のイベントや講座などで、子どもから大人まで、たくさんの人たちと出会います。

講座や発表会では年齢や性別に関係なく、自分の得意なことや好きなことを生かして輝いています。また、中央コミュニティのイベントでは子ども連れのイクメンをよく見かけます。

少しずつですが、社会の中で誰もが自由に個性や能力を発揮できるようになってきているのではないのでしょうか。今後も、社会全体で男女共同参画を推進し、誰もが「自分らしく生きる」ことができるように、みんなが協力していく必要があります。

私は今後、イベントなどを通して、自分の得意分野で誰もが輝き、素敵な人生を送れるように後押ししていきたいです。

皆さんも「自分らしく生きる」というについて一度立ち止まり、考えてみてはいかがでしょうか。